



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック、学 Viva セットを活用し、できなかったところを「できる」ようにする取組を進めましょう!!

令和5年4月18日(火)には、小6、中3を対象に全国学力・学習状況調査(以下「全国学調」という。)が実施されます。また4月～5月には小4・小5、中1・中2を対象にみえスタディ・チェックが行われます。これらを活用して、児童生徒一人ひとりの学習内容の理解・定着状況を把握し、できなかったところを「できる」ようにする取組や授業改善を進めましょう。

できなかったところを「できる」ようにするために

- 全国学調の自校採点結果やみえスタディ・チェックの結果から、「できているところ」「できなかったところ」を把握・分析し、何年生のどの内容でつまづいているのかを**学校全体で共有**しましょう。
- 明らかになった子どもたちの課題に対応した問題やワークシートなどを活用し、**年間を通じて組織的、計画的に「できる」ようにする取組や早期からの授業改善**を進めましょう。(課題に対応した問題やワークシートなどは、みえの学力向上県民運動HP「先生のページ」や、CBTシステムの「ワークシート」にて提供しています。また、CBTシステムの「みえスタディ・チェック結果票」では、設問ごとに、正解の場合は、さらに難しい問題を、不正解の場合は、学習内容を遡った問題を提供しています。)
- その取組により、子どもたちがどれだけ「できる」ようになったか、**学習内容の定着を確認**しましょう。

どれだけ「できる」ようになりましたか？

令和4年度第2回みえスタディ・チェックで課題が見られる設問 【 】内の数値は正答率

<小学校国語>

- 【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する。

令和4年度第2回 【44.4%】
(過去からの改善状況：-23.8ポイント)

<小学校国語>

- 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、でどのように話すかを書く。

令和4年度第2回 【33.6%】
(過去からの改善状況：-10.6ポイント)

<小学校算数>

- $100-20 \times 4$ の計算をする。

令和4年度第2回 【72.6%】
(過去からの改善状況：-4.2ポイント)

<小学校算数>

- A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読み取った事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く。

令和4年度第2回 【20.7%】
(過去からの改善状況：-5.4ポイント)

<中学校国語>

- 意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する。

令和4年度第2回 【75.0%】
(過去からの改善状況：-6.3ポイント)

<中学校国語>

- 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。

令和4年度第2回 【39.3%】
(過去からの改善状況：-7.2ポイント)

<中学校数学>

- 反比例のグラフから表を選ぶ。

令和4年度第2回 【47.3%】
(過去からの改善状況：-4.9ポイント)

学習内容の定着の
確認が大切です。



学校における全国学調、みえスタディ・チェックを活用した取組モデル

調査の実施

実施日: 4月18日(火)

令和5年度 全国学力・学習状況調査

- ◆対象学年: 小学校第6学年
中学校第3学年
- ◆調査内容: 国語、算数・数学、
英語(中学校のみ)、質問紙

実施期間: 始業式翌日～5月31日(水)

令和5年度 第1回みえスタディ・チェック

- ◆対象学年: 小学校第4・5学年
中学校第1・2学年
- ◆実施教科: 国語、算数・数学、理科
(理科は小4を除く)、質問紙

課題を把握(自校採点、分析、共有)

全教員で採点

◆自校採点の実施

- ・全国学調→「解説資料」を参考に採点し、解答類型を判断
- ・みえスタディ・チェック→記述式及び一部の短答式等については、「教師用解説資料」に従って採点

◆結果の入力

- ・5月31日(水)までに授業改善サイクル支援ネットに入力

◆S-P表の活用

- ・S-P表を活用し、県全体の状況や過去の状況と比較して、できている問題、できていない問題を明らかにし、授業改善につなげましょう。

つまずきの克服 早期からの授業改善

◆明らかになった課題への対応と定着状況の把握

- ・児童生徒一人ひとりや学校、学級の強み・弱み、経年比較、どの問題でどれぐらいの児童生徒がつまずいているのかを把握し、**組織的、計画的に「できる」ようにする取組や早期からの授業改善を進めましょう。**
- ・課題の改善、定着状況をいつ、何をを使って確認するのかを明確にし、全教職員で取り組むことが大切です。

令和5年度全国学力・学習状況調査の実施にむけて

子どもたちが持てる力を精一杯発揮できるように、調査マニュアル等にしながら実施体制等を整備・確認し、円滑な実施をお願いします。

調査マニュアル等は各校に紙冊子で配付(3月)されるとともに学力調査Webシステムにも掲載されています。

※中学校英語「話すこと」調査及び生徒質問紙に係るオンライン実施マニュアル等は、紙冊子での配送はありません。

調査(実施)前

- ★最後まであきらめずに、がんばって解答すること
- ★計算や下書き等は**問題用紙に書き込んでかまわないこと**
- ★中学校英語「話すこと」調査は**ICT端末を活用し、オンラインの音声録音方式で行うこと**
※中学校英語「話すこと」調査における教室監督者の手順を示した「オンライン実施マニュアル【教室監督者用】」は、学力調査Webシステムからダウンロードできます。

子どもたちに
伝えてください!

調査(実施)中の確認

- ★問題用紙に解答(回答)を記入している児童生徒がいた場合は、**解答(回答)用紙に記入**するよう指示してください。
- ★解答(回答)欄の場所を**間違えずに記入**しているかを確認し、適宜、指示してください。
- ★解答をあきらめているような児童生徒には、**できるところから解答を試みる**よう、適宜、指導してください。

学力向上 に向けた

具体的な実践事例

【事例50】いなべ市立石榑小学校

教師の学び合いが日常的に行われる校内研修を目指して！

教師が主体的に学び続ける姿は、子どもたちにとってロールモデルとなります。今回は、教師が学び合う校内研修に取り組んでいる石榑小学校の実践を紹介します。校内研修を進めるうえでのポイントは「日常化と意識づけ」です。

◆ 日常化 と 意識づけ ◆

★ ぷらっと授業参観 & 放課後プチ研修会 ★

ぷらっと授業参観とは、学年部単位の小集団で授業を参観し合う取組です。その際に、タブレットを使って、**授業の様子を動画撮影**します。小集団で行うことで、日常的な「学び合い」が促進されています。

放課後プチ研修会では、撮影した動画をもとに短時間で**授業の振り返り**を行います。子どもたちが考える場面、アウトプットする場面等に焦点化し学習場면을振り返ることで、授業の改善点をつかむことができます。



放課後プチ研修会は、30分で！

★ 授業ワクワクシート（授業記録）の活用 ★

全体研修会では、自分の授業記録「授業ワクワクシート」を持ち寄り、子どもの主体的な学びを仕掛けるポイントや教師の出場について交流しています。

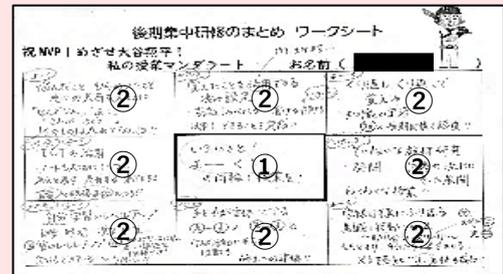
このシートには、子どもが主体的に学んでいる場面での教師と子どもの発話の流れを文字起こししてあるため、**本時のねらいに迫る展開となっていたか**について、丁寧に振り返ることができます。授業改善の手段として活用しています。



★ 授業マンガラートの活用 ★

全体研修会で**学んだことを明日からの授業に活かす**ことができるよう、「目標設定シート『授業マンガラート』」を活用して**注力点と取組を具体化**しています。マンガラートを作ることで、授業改善に向けての注力点が可視化され、実行性が向上しています。

「授業マンガラート」



- ①注力点を1つ、中央に書く。
- ②そのためにすべきことを周りに書く。

完成した授業マンガラートは、**各自の机に貼って**、日頃から授業改善の注力点が意識できるようにしています。また、全員の授業マンガラートを**印刷室等に掲示**して、お互いの授業の注力点を共有しています。実践状況や授業改善についての会話が自然に生まれています。



常に意識できるよう授業マンガラートは見える場所に掲示！

研修に参加した
教員の声



いつでも授業参観 & 研修ができるので、無理なく学び続けることができました！

「授業マンガラート」を作ることで、自分がすべきことが明確になり、実行しやすくなりました！



いなべ市立石榑小学校長のコメント

授業や行事等で子どもたちを何かに取り組みさせる際、「やらされ感」でなく「自分事」として受け止められるようにするには、ペアや班、クラスの仲間と気づきや振り返りを共有する仕組みや仕掛けが大切です。

我々の校内研修でも同様に「自分事」として受け止めるためには、常に複数で気づきや振り返りを共有する仕組みや仕掛けが重要です。そして、それこそが自律的・協働的な校内研修の核心であると同時に、研修で培った個々の力を組織の成長につなげるポイントだと考えています。

互いに切磋琢磨して教師も子どもたちも「ワクワク感」を体感しながら豊かな学びを実現し、確かな学力を育む授業が実現することをめざして、この取組を継続していきたいと考えます。

令和5年度 教職員研修の取組紹介



研修推進課 テーマ研修班 情報教育担当より

1人1台端末環境が整備され、「とにかく使う」という段階から、より効果的な活用が目指される段階になりました。研修推進課ではタブレット端末の効果的な活用をより一層推進するため、令和5年度も実践的な研修を実施します。



情報教育研修

◆集合研修◆

- ・授業で使いたくなる端末活用の基礎（県立学校向け）
- ・県内外の先進校実践から学ぶ端末活用（県立学校編）
- ・県内外の先進校実践から学ぶ端末活用（小中学校編）
- ・共有ノートの達人になろう！
協働的な学びのためのロイロノート活用法

◆遠隔研修(Zoom)◆

- ・1人1台端末時代のデジタル・シティズンシップ教育
- ・1人1台端末活用講座 -小学校編-
- ・1人1台端末活用講座 -中学校編-
- ・1人1台端末活用講座 -高等学校編-
- ・1人1台端末活用講座 -特別支援学校編-



放課後60分で学ぶ！タブレット端末活用研修

◆どんな研修？◆

15:50～16:50の放課後の時間帯に、県内の教員によるタブレット端末の効果的な活用ポイントを紹介します。また、受講者同士の情報交流を行い、授業で使える活用法を学びます。

相談できる人が
いたらなあ…

具体的な活用場面
を知りたい！

他の学校はどう
活用してるの？

今年度は県立高校での取組も積極的に公開します！

【担当】 三重県教育委員会事務局研修推進課 テーマ研修班 TEL 059-226-3659

研修推進課 教科等研修班 教科等研修担当より

●「講義」+「公開授業」の組み合わせ研修について

夏の「講義」編で学んだ内容を、2学期以降の「公開授業」編での実践例を通じて協議することで、授業力の向上を目指します！

講義+公開授業を組み合わせる講座

- ☆『読む力』を育む授業づくり研修
- ☆小学校算数授業づくり研修
- ☆小中学校英語授業づくり研修

- ☆『話す力・聞く力』を育む授業づくり研修
- ☆中学校数学授業づくり研修
- ☆高校英語授業づくり研修

※講義・公開授業のそれぞれにお申し込みが必要です。

●見逃し配信について

研修講座を「見逃した方」や「もう一度復習するために見たい方」は、見逃し配信にお申し込みいただくと、研修動画を見ることができます！
配信日時等は、後日、総合教育センターHPで確認できます。



【担当】 三重県教育委員会事務局研修推進課 教科等研修班 TEL 059-226-3572

研修の申し込みは三重県総合教育センターHP（<http://www.mpec.jp/>）から。

- ①「1 研修講座」から「06 教科等研修」または「07 テーマ研修」へと進み、該当の研修講座を選択しクリック
- ②「申込み状況」の「受付中」をクリックし「学校ID」「学校パスワード」「職員番号」を入力して認証ボタンをクリック
- ③必要事項を入力して確認ボタンをクリック→確認画面で入力に間違いなければ登録ボタンをクリック